



マイナンバーカード×健康保険証

令和3年3月（予定）より医療機関や薬局の受付でマイナンバーカードをかざすだけで健康保険証として利用できるようになります。

就職・転職・引越をしてもずっと使える！

マイナポータルで確定申告の医療費控除が簡単に！

医療費が高額になった際、限度額適用認定証の持参が不要に！

また、令和8年を目途に運転免許証との一体化も計画され、マイナンバーカードがより身近になりそうです。

<マイナンバーカードの申請から交付まで>

郵送された通知カードの下についている「交付申請書」を用意し、4つの方法（①スマートフォン②パソコン③街中の証明用写真機④郵便）から申請します。

※交付申請書がない場合、HPからダウンロードして郵送で申請します。

申請から概ね1ヶ月で市区町村からハガキの「交付通知書」が届くので、記載の場所・期限までに本人が受け取ります。



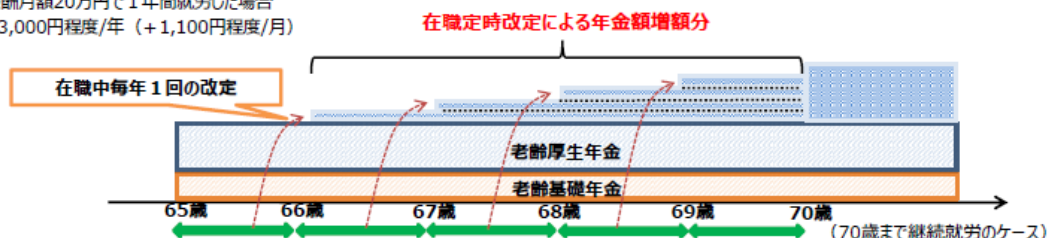
年金制度の見直し～在職中の老齢年金受給と公的年金～（令和4年4月施行）

年金制度の改正が6月に決定しました。それにより在職中の年金受給について①在職中の65歳以上の人の年金額を毎年改定すること②60～64歳の在職老齢年金制度の支給停止額を28万円から47万円に引き上げることとなりました。また年金受給について、③公的年金受給開始時期の上限を70歳から75歳まで繰下げ可能となりました。

- ① 65歳以上で働いている場合、退職時か70歳到達時に年金額を改定していましたが、今後は在職中毎年1回の年金額の改定がされることになりました。

【見直し内容】

・標準報酬月額20万円で1年間就労した場合
⇒+13,000円程度/年（+1,100円程度/月）



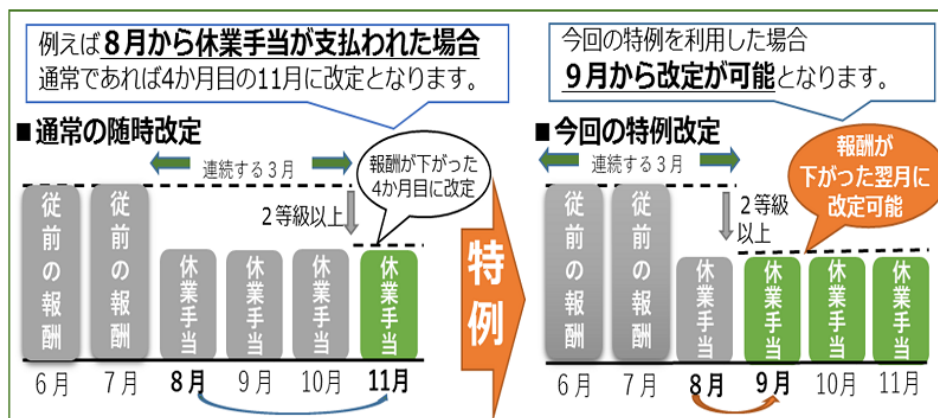
- ② 60～64歳の働いている方は、賃金と年金額の合計が28万円以上になると年金が一部もしくは全部が支給停止されていますが、今後は支給停止額が65歳以上と同額の47万円となりました。

そもそも65歳前に支給される特別支給の在職老齢厚生年金制度は男性令和7年、女性令和12年までの制度となります。支給停止額が28万円と低いため、働き方を抑える人もいました。そこで就労抑制を防ぎ、制度を分かりやすくするために今回の改正となりました。

- ③ 年金の受給開始時期を60～70歳までの間で選択が可能となっていますが、60～75歳までが可能となります。

新型コロナウイルスによる特例改定の延長等

令和2年4月から7月までの間にコロナの影響による休業により報酬が著しく下がった方は、特例により翌月から改定を可能としていましたが、令和2年8月から12月までの間に報酬が急減した方や、令和2年4月または5月に特例改定を受けている方も、特例措置が講じられることとなりました。

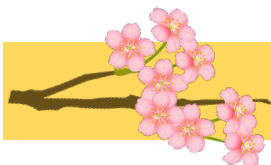


コロナの影響による休業手当を助成する「雇用調整助成金の特例期間」、及び小学校の休校などによる有休手当を助成する「小学校休業等対応助成金」も、対象期間が令和2年12月31日まで延長されました。

年末調整の準備をしましょう



- 今年払った生命保険、介護医療保険、個人年金保険、地震保険の保険料控除証明書が10～11月に届きます。失くさないうちに提出をお願いします。
- 次の保険料は勤務先を通さず本人が納めるため、いくら納めたか申告が必要です。
65歳以上の方の介護保険料、75歳以上の方の後期高齢者医療保険料、中途入社した方が入社前払っていた国民健康保険料、国民年金保険料。このうち国民年金保険料は「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」の提出が必要ですが、その他は証明書提出は不要です。金額が分からなければ市（浜松市は区役所の長寿保健課）に問合せましょう。
- ご家族の就職や働き方変更により扶養状況に変化がないか確認してもらいましょう。
- 今年中途入社した方の前勤務先の源泉徴収票の提出（年内に前職での収入がある場合）
- 毎月給与から控除する社会保険料に誤りが無かったかの確認
 - ・令和2年4月より雇用保険被保険者は年齢に関係なく雇用保険料の控除が必要。
 - ・介護保険料は40歳～64歳まで、厚生年金は69歳まで、健康保険料は74歳まで控除が必要。



根尾の淡墨桜に元気をもらおう

「GoTo トラベル」は大人気を博しているようだが、コロナウイルスはまだまだ静まらないので不安がいっぱいです。さも言う私も外出を控えて、外の空気を胸いっぱい吸いたくなりました。

おひとりさまふたりで田舎の方へ鉄旅としゃれ込んだ。それは樽見鉄道1両列車に乗ることであり、樹齢1500年という、淡墨桜にたまらなく会いたくなったわけである。

名古屋で在来線に乗り換え大垣へ。樽見鉄道で34.5km、1時間あまりで目的地根尾に到着、今は本巣市であるが、根尾の淡墨桜は鎮座まします、その威風堂々たる姿に圧倒されました。春の花の頃を心に浮かべ逆転の満塁ホームランを見るような思いでした。

芝生のど真ん中でギターを握る男性のうた声は、連なる1000mの山々に吸込まれて消えた。

そこには新型コロナウイルスなんて存在する由もなく終生忘れ得ぬ旅路となりました。

そしてまもなくさくら紅葉、春には満開のさくらにお目にかかりたいと切なる思いで帰路に着きました。